

Forest Fire in Kalimantan
August-November 2006

カリマンタン島火災



中央カリマンの州都、パラ
ンカラヤ近郊での昼間の状
況です。車はライト無しでは
走れません。上の方の白丸
は太陽です。

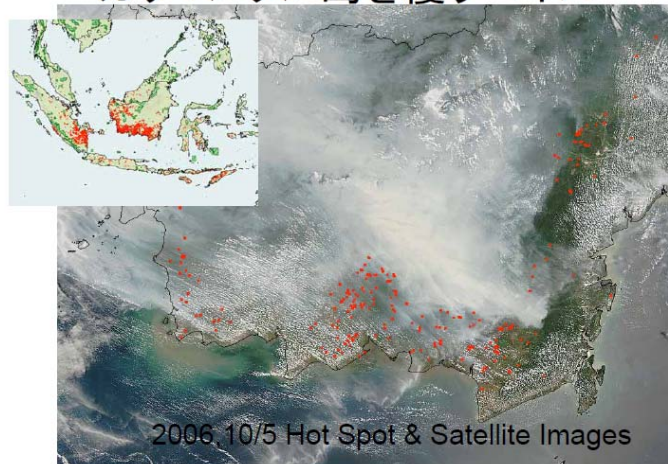
火災の煙、ヘイズの発生は
泥炭火災によるものです。く
ん焼による低温燃焼のた
め、有害物質が多く発生し
ます。

北海道大学大学院、早坂洋史

By Prof. Hiroshi Hayasaka
Hokkaido University

Haze covering Kalimantan Island

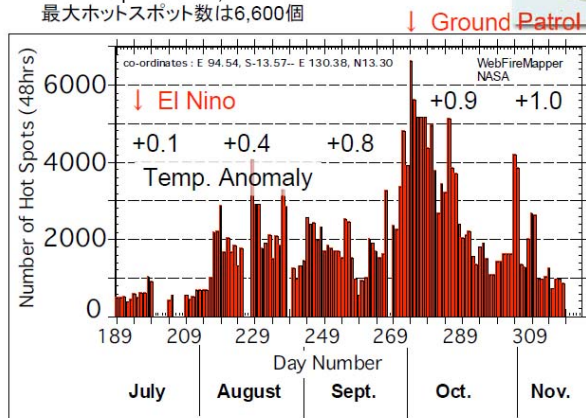
カリマンタン島を覆うヘイズ



Continued Fire from August to November

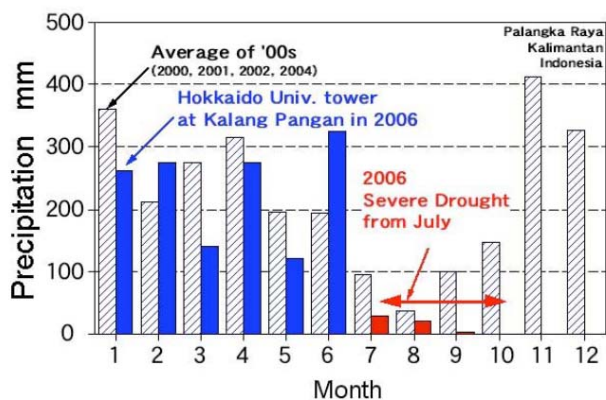
火災は8月より11月中旬まで継続

Maximum recorded hot spots were 6,600
最大ホットスポット数は6,600個



Severe drought from July caused fire

火災の原因は7月よりの干ばつ



Situation in Palangkaraya (October 2006)

ヘイズ下の状況、2006年10月



パラ
ンカ
ラヤ
市内



パラ
ンカ
ラヤ
郊外



Air Pollution Index Board in Palangkaraya (Oct. 2006)

パランカラヤ市内の大気汚染表示板



Dangurous
Very Unhelthy
Unhelth
Moderate
Good

比較的煙が薄いにも拘わらず、微粒子濃度PM10は危険濃度、一酸化炭素COは不健康濃度と表示されていた。2006.10

Damage Situation

- Haze smoke covered Central Kalimantan for long time.
 - Haze affected more than 1,000 people.
 - Haze caused a lot of damage for growth of crops
 - Airport and schools had been closed for 2 months in Palangkaraya, capital of Central Kalimantan
-
- 大きな火災からの煙、ヘイズがカリマンタン島の中央部を長期間覆った。
 - ヘイズの被災者は、1,000名を超えた。
 - 巨大な煙のため、日光が遮られ農作物の生育不良の被害が出た。
 - 中央カリマンタン州の州都パランカラヤでは、約2月間空港が閉鎖し、小中高校が臨時休校となった。